

<資料 1>

使用済燃料の乾式貯蔵、避難に関する宮津市住民へのアンケート結果

私たちは、関西電力の原発敷地内乾式貯蔵と原発事故時の避難の問題について、高浜原発UPZ圏内の7市町の住民にアンケートを実施しました。昨年6～11月に各市町で戸別訪問を行い、舞鶴市はPAZ・準PAZ圏全世帯数の約2割、他の6市町はそれぞれUPZ圏全世帯数の約5%、合計でアンケート857枚を集めました。一軒一軒訪ね、アンケートを書いてもらった後、乾式貯蔵についてのカラーリーフを渡しながらか、住民のみなさんの思いも聞いてきました。

とりわけ宮津市は全市がUPZに含まれています。宮津市に限れば、UPZの5%にあたる410世帯を超える421枚のアンケートが集まりました。アンケートには、多くの意見も書かれています。アンケート結果を尊重し、要望事項に答えてください。

1. アンケート結果（宮津市のアンケート結果。7市町全体のアンケート結果は別紙参照）

【1】半数以上の人々が複合災害時に避難や屋内退避は「できない」



「高齢、持病なので、集団避難に対して信頼できない。志賀原発をとりまく状況は他人事ではない」

「災害の多い日本で原発はやめるべきです、避難などできるわけないと思います」

・「分からない」と回答した人は、能登半島地震を思い浮かべ、多くが悩みながら選択。

【2】約8割が敷地内乾式貯蔵の計画を「知らない」

2. 使用済核燃料の乾式貯蔵計画を知っているか？

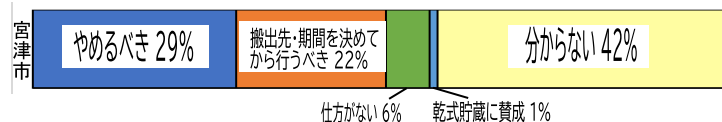


「周辺住民の安全を脅かす施設の計画であるにもかかわらず、知らされていない」

「核のゴミ捨て場」・・・誰であっても自分たちの近くにあるのは嫌なもの。だからゴミをださないためにも運転をすぐに止めるべきだと思います」

【3】「反対」「先に搬出先等を決めるべき」合計が半数。「賛成」は極少数

3. 乾式貯蔵後の搬出先も貯蔵期間も明らかにしていない このままでは、使用済燃料が原発にたまり続ける可能性がある 乾式貯蔵についてどう思うか？



「核燃サイクル実現の見込みはないのだから「中間」などあり得ない」

「子供たちに負の遺産は残してはいけないと思う」

「原発を動かせば核のゴミが出る。処理できない現状の中で、使用済み核燃料を貯蔵できる場を確保すれば解決する訳ではない。すぐにストップして安全なエネルギー政策に！！」

「『核のゴミ捨て場』・・・誰であっても自分たちの近くにあるのは嫌なもの。だからゴミをださないためにも運転をすぐに止めるべきだと思います」

- ・搬出先等も決めず計画を進めている関電のやり方に批判が多い。

【4】古い原発の運転継続は6割以上が「反対」。「賛成」は1割以下

4. 乾式貯蔵ができれば、原発の運転が継続される可能性がある
古い原発の運転継続をどう思うか？



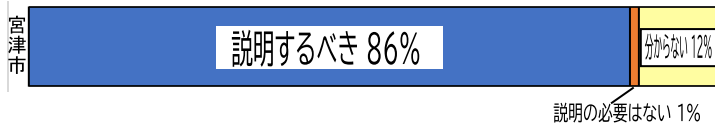
「私たちの家でも40年経つといろんなところがいたんできて改修が必要になってきている。」

原発は毎日ものすごいエネルギーが当たっているのだから。劣化が絶対進んでいること間違いなし。年数の立った原発はぜったい動かしてはいけない。やめてほしい」

- ・「反対」の人は、「原発反対」「すぐに止めるべき」等の意見を書く人が多かった。核のゴミをこれ以上増やさないと止めるべきとの意見もあった。
- ・関電の原発は7基の内、4基が40年超え（6月には5基に）。高浜3・4号は50年間の運転が認められた。古い原発の運転に反対する声が多い。

【5】8割以上が住民への説明は「必要」

5. 避難計画や乾式貯蔵について
電力会社や自治体から住民へ説明する必要があると思うか？



「宮津は30キロ圏内にあるし、説明会は作る前に必ず市の責任で開いてほしい。」

- ・他の設問での「賛成」「反対」「分からない」等に関わらず、住民への説明は当然必要だと圧倒的多数の人が考えている。